

小野観光推進協議会 文化伝承部会

わたしたちはこんな企業(団体)です

宇部市北部の中山間、日本のダム湖100選に選ばれた市の水源
地である小野湖のそばに位置する旧小野中学校内に建てられた
「紙漉場」で私たちは活動しています。自然に囲まれた小野地区
では、江戸時代より和紙作りが盛んに行われていましたが、時代
の流れの中で1984年には廃業することになりました。しかし
1989年に地域でこの伝承技術を復活させ、地域内の小・中学校
の子どもたちへ小野和紙の歴史や文化を継承し、市内外へも出
張ワークショップを開催するなどして、多くの人に興味をもって
もらえるよう伝承の課題解決に取り組んでいます。



小野観光推進協議会
文化伝承部会

わたしたちの SDGs推進プロジェクト



- ◆参画機関、参画メンバー・・・竹ラボ(インカバ)ンゴ(株)、
宇部市立厚東川中学校、宇部市立小野小学校、
小さな野はらに、宇部市
- ◆事業期間・・・2024年7月1日～2024年12月28日
- ◆事業の目的・・・古来から自然との共生から生まれた伝統
技術である紙漉きをSDGsの観点からアート作品制作に
取り組み、和紙需要の可能性を高める。
- ◆事業の内容・・・宇部市内小、中学生、市民を対象に紙漉
き体験を通じて歴史や伝統文化、技術の伝承を行い、自然
に優しい和紙作りで環境教育を展開。
更に今年から新たに伝統的手漉き流し技法を用いて、一枚
一枚丁寧に和紙を漉き上げ、絵画用や空間インテリア製品
など芸術性の高い製品の制作を目指す。

「SDGsを实践する 小野和紙でアート作品事業」



和紙の原料「楮」の皮はざとA3サイズの和紙を
紙漉き体験学習(厚東川中学校1, 2年生)
出来上がった和紙は3学期美術の授業で使用。



伝統的流し漉き技法の習得

プロジェクトの実績

中学校の総合学習の時間
を活用した教育プログラ
ムの中で和紙の原料とな
る「楮叩き」や「塵より」な
ど紙漉きができる前の工
程を学び、伝統技術の伝
承を行った。
イベントでのワークショッ
プや、竹繊維を使った和
紙を絵画用に使用したり、
新しい和紙の活用にチャ
レンジした。
和紙を染色してアクセサ
リーやインテリア製品の制
作を実施。

楮叩き体験



塵より



和紙の染色、花コサージュ



竹和紙を水墨画に使用



今後の予定

紙漉き体験を通じSDGsの啓発と、地域
の歴史や文化を知ってもらうとともに、北
部地域の特徴を市内外へ発信し、地域活
性化につなげる。
さらに、アクティビティツアーとして県外
観光客のみならず、インバウンド効果を
狙った和紙を使った日本独自のうちわ作
りなど紙漉きだけでなく一つの作品をつ
くるワークショップを企画、実施していく。

紙漉き体験を通じ、歴史や
文化の発信



小野の竹を使
い、日本独自
の文化である
うちわの制作
を和紙を使用
し、アクティ
ビティ体験の実
施を目指す